

## 小川絵梨子芸術監督、任期最後のシリーズ企画「いま、ここに——」の1作目

# 2025/2026シーズン いま、ここに——[1] ガールズ&ボーイズ

渾身の一人芝居！

真飛 聖と共に挑むダブルキャストが、公募オーディションを経て、増岡裕子に決定！  
2名による公演ヴィジュアルも解禁！



2026年4月9日より開幕する『ガールズ&ボーイズ』は、ミュージカル『マチルダ』の脚本でも知られる、デニス・ケリーが2018年に書いた一人芝居です。ある一人の女性の人生を追いながら、愛、結婚、仕事、そして出会いと喪失を描き、順調に見えていた人生が予期せぬかたちで崩れていく過程を通して、現代社会に潜むさまざまな歪みを浮き彫りにします。ロンドン・ロイヤルコートシアターにてキャリー・マリガン主演で初演され、のちにブロードウェイでも上演されました。

**新国立劇場主催公演史上初の一人芝居**となる本公演の演出には、新国立劇場でも『私の一ヶ月』『誤解』で繊細な心理描写と大胆な空間設計を魅せてきた稻葉賀恵を迎えます。

そして、本公演は、作品により多面的な視点と深みをもたらすべく、異なる年齢層によるダブルキャストで上演いたします。すでに発表された真飛 聖に加えて、2025年9月より行われた公募オーディションを経て増岡裕子の出演が決定いたしました。世代が異なる二人が、それぞれどのような「わたし」を創り上げるのか、どうぞご期待ください。さらに宣伝ヴィジュアルも解禁！柔らかな光の中で、強い目線を送る二人の「わたし」。潔さも感じさせる、シンプルながら物語性を感じるヴィジュアルです。

この度、出演が発表となった増岡裕子、そして演出の稻葉賀恵からのコメントとともに、ぜひ貴媒体にて本情報のお取り上げをご検討いただけますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 2026年4月スタート シリーズ企画名が決定！

小川絵梨子演劇芸術監督のファイナルシーズンである、2025/2026シーズン。2026年4月よりスタートする3作品のシリーズ企画名が「いま、ここに——」に決まりました。

変わり続ける世界の中で、それでも人はここにいる。ここに、居続ける。いま、ここに生きることと、小さな希望を見いだしていく3つの物語、『ガールズ&ボーイズ』『エンドゲーム』、そしてノゾエ征爾による新作書下ろし『りんごが落ちる』を2026年4月より3ヶ月連続で上演いたします。

## <増岡裕子コメント>



この度、新国立劇場の舞台に立たせていただくという大変光栄な機会をいただき、心から嬉しく思っております。

この台本を初めて拝読した際の衝撃は、今も忘れられません。国は違えど決して他人事ではなく、自分自身と深く関わりのある物語だと感じました。

そして演出の稻葉さんとは文学座で一期違いにあたり、ご一緒させていただくのは十年ぶりなのですが、稻葉さんの細部に至るまで洗練された演出が以前からとても好きで、今回タッグを組めるのがこの上ない幸せです。

私自身、主役を務めることも一人芝居に挑むことも初めての経験です。少なからずプレッシャーも感じておりますが、この物語を皆様にお届けすることが自分の使命だと信じ、真摯に作品と向き合い、この身体とこの声で物語を立ち上げていきたいと思います。

本邦初上演、そして新国立劇場主催公演としても初の一人芝居となります。上質な舞台をお届けできるよう、精一杯努めてまいります。

劇場でお待ちしております。

### [増岡裕子（ますおか・ゆうこ）プロフィール]

2007年、文学座付属演劇研究所入所。2012年に座員となり、現在に至る。

これまでの主な出演に、映画『沈黙の艦隊 北極海大海戦』、ドラマ、連続テレビ小説『あんばん』『19番目のカルテ』、吹き替えに、映画『リロ&スティッチ』『アナと雪の女王』、ドラマ『涙の女王』『アストリッドとラファエル』など。そのほか、ラジオドラマやWEBショートドラマへの出演なども多数。近年の主な舞台は『オセロー』『マニラ瑞穂記』『美しきものの伝説』『Don't stop me now!』『スリーウィンターズ』など。

## <演出 稲葉賀恵コメント>



『ガールズ＆ボーイズ』キャストオーディションに関心をお寄せくださった皆さん、この度は本当にありがとうございました。また、一人芝居というとてもハードルの高い作品にも関わらず、大変多くの方にオーディションにご応募いただき、会いに来てくださいましたこと、深く感謝しております。

私はオーディションがとても好きです。演出者として、俳優の方々と会えるチャンスは実はとても限られています。作品を通して、様々な出自やキャリアの皆さまが集まり、作品を創る前にお互いに話したり実験する、合うか合わないかを演出者だけでなく俳優の方にも取捨選択が出来る場があること。これがどれだけ私にとって、また作品にとって豊かな時間であるか、作品を立ち上げていつも思い知らされます。現に今回のオーディションでも、別の機会で一緒にものづくりをしたいと思う出会いが、たくさんありました。改めてご参加くださった皆さんに御礼申し上げます。

そして、その多くの参加者の中から今回、ダブルキャストの一人として、増岡裕子さんと作品と共に創ることに決めました。増岡さんは私が所属している劇団の先輩にあたる俳優さんですが、そのような理由とは全く別に、作品への思い、そして何より会場で魅せて下さったとても魅力的な演技造形から目が離せなくなり、共に頂きを登る戦友として選出させて頂きました。

今回出会って下さった皆さん全員に敬意を表しながら、この『ガールズ＆ボーイズ』という、ある女性の強かで壮絶な人生を、鮮やかに創作していきたいと思います。

どうぞご期待ください。

### [稻葉賀恵（いなば・かえ）プロフィール]

日本大学藝術学部映画学科卒。2008年文学座附属演劇研究所入所。13年に座員となる。同年4月『十字軍』にて文学座初演出。これまでの主な演出作品に『Downstate』『狂人なおもて往生をとぐ～昔、僕達は愛した～』、ミュージカル『Once』、『リンス・リピート—そして、再び繰り返す—』『オレアナ』『リタの教育』、ミュージカル『ラフヘスト～残されたもの』、音楽劇『不思議な国のエロス』～アリストパネス「女の平和」より～、『クレバス 2020』『ブレイキング・ザ・コード』『幽霊はここにいる』『加担者』『母 MATKA』『墓場なき死者』『熱海殺人事件』『野鴨』など。23年、『加担者』『幽霊はここにいる』の演出で第30回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。新国立劇場では、『私の一ヶ月』『誤解』を演出。

## <公演概要>

### いま、ここに——[1]『ガールズ＆ボーイズ』



【公演日程】2026年4月9日(木)～26日(日)

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】デニス・ケリー

【翻訳】小田島創志

【演出】稻葉賀恵

【出演】真飛 聖／増岡裕子(Wキャスト)

【芸術監督】小川絵梨子 【主催】新国立劇場

【一般発売日】2026年2月11日(水・祝)10:00～

【チケット料金(税込)】

A席 7,700円／B席 3,300円／Z席(当日)1,650円

【公式ウェブサイト】※12/17(水)18:00に更新

[https://www.nntt.jac.go.jp/play/girls\\_and\\_boys/](https://www.nntt.jac.go.jp/play/girls_and_boys/)

#### ものがたり

人生、どうすればいいか分かんなくなつた。

このままじゃだめだって思つて。

だから、一人で旅に出たの。

そしたら、イタリアの空港で彼に出会つた。まるで映画みたいに。

恋に落ちて、結婚して、二人の子どもも生まれて、仕事だって順調で……

すべてがうまく転がっていく気がしてた。

だけど、ほんのちょっとしたことで、少しずつズレ始めて。

気づいたときには——もう戻れない場所にいた。

これは、そんな「わたし」の話。

#### 小川絵梨子演劇芸術監督 任期最後のシリーズ企画 「いま、ここに——」

いま、ここに——[2]

『エンドゲーム』[フルオーディション Vol.8]

【公演日程】2026年5月20日(水)～31日(日) プレビュー公演:2026年5月15日(金)～16日(土)

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】サミュエル・ベケット 【翻訳】岡室美奈子 【演出】小川絵梨子

【出演】近江谷太朗、佐藤直子、田中英樹、中山求一郎

いま、ここに——[3]

『りんごが落ちる』

【公演日程】2026年6月13日(土)～28日(日)

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】ノゾエ征爾 【演出】金澤菜乃英

<本件に関するお問い合わせ>

制作部演劇 広報担当:杉田 TEL:03-5352-5738 FAX:03-5352-5737